

2026年秋の大会 新型炉部会 全体会議（第33回）

2026年9月10日 12:05

K会場

開会の辞

議事次第

- 開会の辞
- 部会長挨拶
- 前回議事録確認
- 新型炉シンポジウム2026 実施報告
- 小委員会報告
- 運営体制
- 閉会の辞

部会長挨拶

副部会長 碓井 志典

前回議事録確認

新型炉部会全体会議（第32回）

議事録（案）

日 時： 2026年3月12日（木） 12:05～12:45

場 所： 熊本城ホール3階 E会場

出席者： 総勢30名

(1)部会長挨拶

堺部会長より、下記挨拶があった。

原子力事業の推進が図られてきているが、もっとスピードアップが必要と感じている。考察も大事だが、実物を作ることで経験的なデータが蓄積されて、心配だったリスクが定量化され、不確かさが低減される。実行してリスクを低減する方向へ舵を切る時になったのではないかと考えている。

(2)前回議事録確認

前回(第31回)議事録案が紹介され、承認された。

(3)小委員会報告

総務 秋の大会以降2回の運営小委員会を開催。2名の委員就任、2名の委員退任、新規フェロー候補の推薦、2026年春の年会の準備状況の確認、メーリングリストの不具合状況等について議論が行われたことが報告された。

財務 令和7年度予算の収支結果及び令和8年度予算の執行予想について報告され、承認された。

企画・戦略 本会議後に「既設新型炉の役割と現状」の企画セッションを実施することが報告された。また、「次世代ナトリウム冷却高速炉の安全設計評価方針検討会」の活動状況、活動計画が説明され、2026年12月に報告書を作成する予定が示された。

新型炉部会全体会議（第32回）

議事録（案）

国際・人材育成 新型炉に関わる国際・人材育成情報として、「新型炉部会 国際・人材育成情報（2026 No.1）」をメール配信したことが報告された。今後、部会HPへの掲載も順次進める予定が紹介された。

広報 部会ホームページにて、2025秋の大会の全体会議資料及び企画セッション資料を公開するとともに、2026春の年会の開催案内を掲載したことが報告された。

出版・編集 プログラム編成委員による年会・大会プログラム編成の活動状況が報告された。学会誌ATOMOS向け解説記事「次世代ナトリウム冷却高速炉の先進技術開発の最新状況」として4件の投稿を行ったことが報告された。

表彰小委 2025春の年会、2025秋の大会を対象に、新型炉部会関連セッションにて優秀講演賞審査を実施し、優秀講演賞4件を選考したことが報告された。

(4)表彰式

新型炉部会優秀講演賞として4名の方が表彰された。

- ・儀間 大充氏（MFBR）
- ・中瀬 正彦氏（東京科学大）
- ・遠藤 慶太氏（日立GEV）
- ・山崎 僚太氏（JAEA）

(5)運営体制

部会長 堺部会長から山野副部会長へ交代、後任の副部会長に守田委員が就任、国際・人材育成小委に高田委員、相楽委員が就任、堺部会長と総務小委 大谷委員の退任が報告されたとともに、次期運営体制が承認された。

新型炉シンポジウム2026 実施報告

新型炉シンポジウム2026報告 (1/3)

「新型炉の国内外開発状況と将来ビジョン」

2026年8月7日(金) 15:20～19:00

東海大学湘南キャンパス16号館5階503教室

(東海大学国際原子力研究所主催／日本原子力学会 新型炉部会共催)

➤ 講演

「新型炉の国外開発状況」 大高 雅彦氏 (日本原子力研究開発機構)

「高温ガス冷却炉の国内開発状況」 深谷 裕司氏 (日本原子力研究開発機構)

「ナトリウム冷却高速炉の国内開発状況」 江沼 康弘氏 (日本原子力研究開発機構)

➤ パネルディスカッション 「新型炉がもたらす2050年の日常を描いたビジョン」

➤ 意見交換会



JAEA 大高氏



JAEA 深谷氏



JAEA 江沼氏



パネルディスカッション

新型炉シンポジウム2026報告 (2/3)

参加者実績

シンポジウム

区分	参加者数
講演者・司会	4
運営(正会員)	13
正会員	31
非会員	17
学生	30
(計)	95

意見交換会

区分	参加者数
講演者・司会	3
運営(正会員)	13
正会員	21
非会員	10
学生	23
(計)	70

新型炉シンポジウム2026報告 (3/3)

事後アンケート

非常に有意義だった。是非もう少し質疑応答の時間が欲しかった。

特に個人的に興味のあった**高速炉開発の現状について知ることができて大変勉強になりました**、ありがとうございました
現在の研究開発状況と今後の原子力の見通しを詳しく知ることができて非常に有意義なものとなった。

非常に参考になりました、ありがとうございます。

勉強になりました。有難うございます。

もっと2050年のお話をお伺いできれば良かったです

今回の見学を通して、高温ガス炉やナトリウム冷却炉など、さまざまな次世代原子炉について理解を深めることができました。特に、それぞれの特徴や安全性、活用方法の違いを学ぶことができ、大変勉強になりました。

大学一年生です。参加してガス炉の存在を初めて知りました。日本も新型炉の先をいく国々に遅れを取らないGX炉の開発が必要だと思いました。また、発電以外の様々な用途は考えるべきで、トヨタ自動車などが開発をしている水素車の燃料生成に使うのはとても良いのではと思いました。

1年なので、知識があまりありませんでしたが、原子力のことが深まって良かったです。

意見交換会ではたっぷり時間を使ってたくさんお話をさせていただいてとてもありがたかった。しかし**前半の発表やパネルディスカッションの時間が短く、議論のためにもう少しスケジュールにゆとりを持たせる方が良いのではないかと思う。**

よいシンポジウムだったので、また開催してほしい

時間が短すぎました。後、1時間ほど必要。

短時間でしたが、学生の理解しやすさを念頭に入れた入り込みやすい構成と内容だったと思います。情報交換の機会確保にも配慮していただき、ありがたかったです。より時間のある機会には、国の予算が厚い炉型以外のものについても狙いと特徴を、また規制側やユーザーの立場からの見解あるいは将来のエネルギーシステム全体における新型炉の位置付けや期待も紹介いただけるとありがたいと思いました。

新型炉の開発の概況がよく分かりました。また、懇親会では学生さんはじめ多くの方とお話しができて有意義でした。セミナー開催にご尽力された皆様に感謝致します。

新型炉の利用について他業界との交流を図る必要があると考えています。

次世代炉に関する最新の状況をよく知ることができた。また、意見交換会では、次世代炉に関わるメーカーの人や学生などと幅広く交流でき貴重な機会となった。

小委員会報告

総務小委員会 (1/2)

2026春の年会以降、3回の運営小委員会を開催した。主要な議事を以下に示す。

日時・場所：2026年4月22日(水) 10:00-11:00 Web会議

- 2026秋の大会 企画セッションテーマについて協議を行い、2026年5月に行われるFR26における国際動向に主眼を置いたテーマとすることとした。
- 新型炉シンポジウム2026の開催について協議を行った。開催場所、開催時期、プログラム等について協議を実施。5/8に継続協議となった。
- 第四世代原子力の核拡散抵抗性・セキュリティに関して、来年春の年会あたりを目途に、核拡散連絡会とジョイントセッション等のイベントが開催できないか検討を行うことが提案された。
- 部会表彰者の過去情報の参照を部会HP上で公開できるように準備を進めることが提案された。
- 国際・人材育成委員から配信されるメールのバックナンバーを部会HP上に掲載できないか検討を行うことが提案された。

総務小委員会 (2/2)

日時・場所：2026年5月8日(金) 11:00-12:00 Web会議

- 2026秋の大会 企画セッション提案書案について協議された。
- 新型炉シンポジウム2026の開催について協議。8/7開催とし、準備を進めることが決定された。

日時・場所：2026年8月7日(金) 14:00-14:20 東海大学

- 2026秋の大会に向けた準備状況について確認を行った。
- 企画セッションについては事前準備が完了したことを確認した。
- ポスターセッション審査委員に、菊地委員と西村委員を新型炉部会から推薦することが決定された。
- 全体大会向け資料作成を各小委へ依頼した。

その他、新型炉シンポジウム2026の準備及び準備に関する打合せを2回実施した。

財務小委員会 (1/2)

○2026(R8)年度執行予想

1. 収 入

項目	金額(円)	備考
配分金収入	19,8000	
事業収益	19,8000	
一般正味財産期首残	326,400	前年度からの繰り越し。24,5000円を今年度シンポジウムに充当。ただし、支出実績なし
合計	524,400	

2. 支 出

項目	2026.7末 実績	年度末想定 (赤字は昨年実績)	2026.4 計画	備考
旅費交通費支出	0 0	0 0	57,000 57,000	2026年 秋(愛媛) 2026年 春(熊本)
通信運搬費支出	1,320	1,320	4,000	メールボックス
一般外注経費支出等	0 0	11,880 3712	30,000	HP管理費用、 賞状代
諸謝金支出	0 0	0	25,000 25,000	秋企画セッション 春企画セッション
合計	1,320	16,912	19,8000	
収入－支出	523,080	507,488		

財務小委員会 (2/2)

○ 新型炉シンポジウム2026(東海大学)収支報告

(シンポジウム)

区分	内容	実績	計画
収入	繰越金充当額	24,5000	245,000
支出	マイク等資機材レンタル	0	40,000
支出	運搬通信費	0	5,000
支出	交通費	0	200,000
収支差額	収入－支出	24,5000	0

(意見交換会)

区分	内容	実績	計画
収入	意見交換会会費	44,000円	20,000円
支出	飲食費等	44,533円	20,000円
収支差額	収入－支出	▲533円	0円

※:学会事務局への支払い申請手続きを準備中

企画・戦略小委員会（1/3）

日本原子力学会 2026年秋の大会
新型炉部会 企画セッション
2026年9月10日（木）13:00～14:30
愛媛大学

高速炉の国際会議FR26報告

座長	JAEA	山野 秀将
(1) FR26の概要と各国の高速炉開発状況	JAEA	久保 重信
(2) 各国の高速炉に関するシミュレーションと 試験による技術開発状況	JAEA	田中 正暁

企画・戦略小委員会 (2/3)

「次世代ナトリウム冷却高速炉の安全設計評価方針検討会」

設置期間: 2023年10月～2026年12月 (2023年9月新型炉部会全体会議承認)
研究・活動項目:

(1) 高速炉の安全基準類に関する検討

- * 安全設計方針 (2025/2 新型炉部会HP公開)
- * 重要度分類方針 (最終版)
- * 安全評価方針 (最終版)
- * 安全評価の判断基準 (最終版)
- * 金属燃料に対する方針

(2) 次世代革新炉の安全関連技術に関する最新開発動向調査

(3) 国際的な安全基準の最新動向調査

成果物: 次世代ナトリウム冷却高速炉の安全基準類に対する考え方



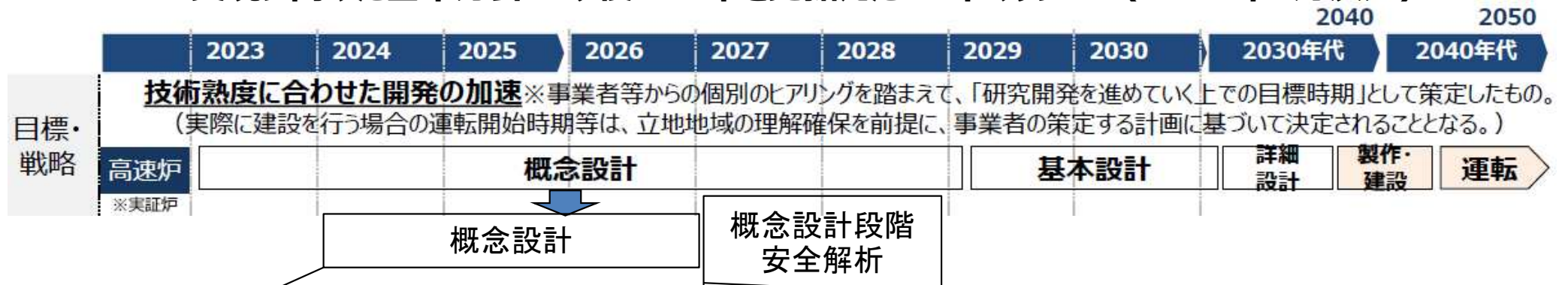
報告書ドラフトレビュー中(2026/9時点)

「次世代ナトリウム冷却高速炉の安全設計評価方針に関する検討」

企画・戦略小委員会 (3/3)

「次世代ナトリウム冷却高速炉の安全設計評価方針検討会」

GX 実現に向けた基本方針～今後 10 年を見据えたロードマップ～ (2023年2月決定)



	2023年度			2024年度												2025年度												2026年度											
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1~		
検討会	▲			▲			▲			▲			▲				▲			▲							▲												
外部報告等															安全設計方針 ▲年会																							報告書	

安全設計方針
▲年会

報告書

国際・人材育成小委員会

- 部会から発信する国際・人材育成関係活動として、新型炉に関わる国際・人材育成情報を部会のHPに集約して、広く発信することを提案（前々回、全体会議）
 - ✓ 具体的な発信内容、方法について、小委員会内で意見交換を実施
- **「新型炉部会 国際・人材育成情報（2026 No.2）」の配信（2026/07/26）**
 - ✓ 掲載項目
 - セミナー開催情報
 - 新型炉の開発・導入等に関わる最新情報
 - 国際会議の開催情報
 - ✓ 発信方法
 - 部会メーリングリスト不調のため、暫定的に、広報小委員会担当者より部会員にメール（BCC）配信
- 今後、定期的に最新情報を配信、部会HPへの掲載も順次進める予定(ニュースクリップが2023年から更新されていないので、そこに入れてはいかがでしょうか?)

広報小委員会

1. 2026年度活動状況

- 新型炉部会のホームページの運営
<https://www.aesj.or.jp/division/ard/>
- 新型炉シンポジウムに関する発信（メール配信、ホームページ上での周知）
- 国際人材育成情報のメール配信
- 部会検討会の関連情報公開

ブックマークへの追加
宜しくお願いします！

新型炉部会

Q SEARCH



2. 新型炉部会ホームページ運営状況

- 2026年春の年会以降、以下を更新
 - 運営委員名簿の更新 2026/03/18
 - 春の年会 新型炉部会 全体会議資料公開 2026/03/18
 - 春の年会 新型炉部会 セッション資料公開 2026/03/18
 - 高速炉の安全設計評価方針検討会 議事録公開 2026/03/30
 - 新型炉シンポジウム 2026の案内・周知 2026/06/07
 - 春の年会 新型炉部会 全体会議の開催案内掲載 2026/08/17
 - 春の年会 新型炉部会 セッションの開催案内掲載 2026/08/17
 - 新型炉シンポジウム2026の講演資料公開 2026/08/20

出版・編集小委

1. 年会・大会プログラム編成

プログラム編成委員：菊地(MHI)、佐藤(MFBR)、山本(JAEA)

2026年秋の大会（302-1新型炉システム）： 6セッション 29件

核燃料サイクル、SMR4件、高温ガス炉4件、Na冷却高速炉10件（2セッション）、熔融塩炉7件、再エネとの調和4件
（2026年春の年会20件、2025年秋の大会24件、2025年春の年会14件、2024年秋の大会50件）

2. 原子力学会誌（新型炉関連記事）

1) 日本原子力学会誌ATOMOS向け解説記事（現在編集事務局確認中）

「既設新型炉の役割と現況」

（1）「高速実験炉「常陽」の取り組み」

高松 操、前田 茂貴、山本 雅也、曾我 知則、関根 隆
（日本原子力研究開発機構）

（2）「高速増殖原型炉「もんじゅ」の取り組み」

～燃料体取出し作業と将来高速炉・新型炉のライフサイクル設計への示唆～

近藤 哲雄（日本原子力研究開発機構）

（3）「高温ガス炉試験研究炉「HTTR」の取り組み」

清水 厚志、佐藤 博之、坂場 成昭
（日本原子力研究開発機構）

運営体制

運営体制

- 部会長
山野 秀将 (JAEA)
- 副部会長
守田 幸路 (九州大学)
碓井 志典 (三菱重工)
- 総務小委
田中 健太郎 (MFBR)
矢吹 健太郎 (日本原電)
- 財務小委
都筑 豊 (関西電力)
- 企画・戦略小委
(研究、規格・基準小委を兼ねる)
後藤 正治 (JAEA)
ヤン・ジングロン (JAEA)
- 国際・人材育成小委
久保 重信 (JAEA)
高田 孝 (東京大学)
相楽 洋 (東京科学大学)
鈴木 哲 (東芝)
山田 由美 (MFBR)
- 広報小委
菊地 浩一 (三菱重工)
西村 聡 (電中研)
- 出版・編集小委
山本 智彦 (JAEA)
中原 宏尊 (日立GEV)
- 表彰小委委員長
鈴木 徹 (東京都市大学)

各小委員会の筆頭者が小委員長
(赤字は変更箇所)

閉会の辞